

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	練馬錦	公表日 2026年3月30日
------	-----	----------------

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				・児童発達と放課後デイで時間帯が分かれており適切。 十分な広さと部屋割りがされてる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	1		・基本的に適切だが経験・役割・児童の状態などで難しさがある。 ・適切である。	・子供の状態に合わせて、体制を調整していきます。 ・スタッフの技術向上に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8				・概ねわかりやすい。 ・構造化されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1			・清掃で清潔維持している。 ・静養室が目的外使用もあり、臨機応変に対応	・定時に清掃を行っておりますが、必要に応じて随時快適に過ごせるよう努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8				・静養室と相談室を使い分けしている。 ・児童の状態に考慮している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2		1	・定例でミーティングによって周知。	・目標を掲示したり、日々のミーティングで再確認したりして工夫をしています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		2	・改善点は真摯に受け止めて改善に努めています。	・保護者評価を職員間で共有し業務改善に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1			・ミーティングにて自由に発言し、検討する機会が定期的に設けられています。	・職員の意見をミーティングにて討議し、実際の支援に具体的にどう反映できるかを話し合い、実践していきます。 ・話し合った内容を議事録に残し、常に確認できるようにします。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		2	・今年から導入ははじめました。	・今年から導入した内容なので、今後活用していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1		1	・月1回以上の研修機会があります。	・新人研修は、入職後に各自受講予定です。 ・毎月定着研修により職員の技術向上を図っております。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			1	・毎月、担当ごとに支援プログラムを立案し作成しており、計画的に実施できていると感じます。	・内容がわかる様に職員間で共有します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			1	・児発管と教室長が中心となり、こどもと保護者のニーズを踏まえたアセスメントを行い、個別支援計画書を作成しています。 ・該当職員によるアセスメントが行われ、計画がなされています。	・内容がわかる様に職員間で共有します。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		2	・個別支援計画については、ケース会議で共有されており、職員間で共通理解を図った上で支援を行っています。 ・毎日の振り返りが行われ、支援内容について共有されています。 ・個別支援計画の内容は職員間で共有されており、計画内容を踏まえて日々の支援を行っています。	・管理者が計画する際に必要となる情報をミーティングなどで職員からの意見を参考にしている旨を各職員に伝えます。 ・今後も、日々のミーティングで、計画に沿った支援が実施できるよう話し合っていきます。 ・今後も、ミーティングに参加出来ない職員に対しては議事録を残し、後から確認でアセスメントシートや、ご家族から頂く検査結果、また教室内の職員による観察によって、確認しています。また、職員に対しては毎日のミーティングを通して周知していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2		1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		2		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	1	・個別支援計画には、本人支援、家族支援、移行支援、地域支援の視点が盛り込まれており、支援内容も具体的に設定されています。	・内容がわかる様に職員間で共有します。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	1	・今までは個人で立案し実行していたが、今後は立案の段階から様々な職員がアイデア出しを行っていく形式を検討中。 ・活動プログラムは担当者が中心となって立案していますが、サブ職員へ事前に共有し、当日の役割分担や進め方について連携を図っています。	・活動プログラムの設定の仕方については、現在再検討中です。 ・チームで、よりよい活動が提供できるよう努めてまいります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	1	・季節やこどもの興味・特性に応じて内容を変更し、活動プログラムが固定化しないよう工夫しています。	・新しいアイデアなどを導入し、常に様々な経験が出来るよう今後も配慮いたします	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	1	・基本は集団活動を中心としていますが、こどもの状況に応じて相談室を使用するなど個別対応を行うことがあります。	・実施している内容がわかる様に職員間で共有します。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	1	・支援内容や役割について事前に共有するようにしていますが、状況により全員での打ち合わせが難しい場合もあります。	・日々ミーティングを行っていますが、参加出来ない職員に対しては議事録を残し、後から確認できるようにします。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	1	・支援終了後には、その日の子どもの様子や支援内容について職員間で共有し、気付いた点や課題について振り返りを行っています。	・実施している内容がわかる様に職員間で共有します。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		1	・日々の支援記録を作成し、職員間で共有しています。 ・記録を元に支援内容を振り返り、必要に応じて改善しています。	・実施している内容がわかる様に職員間で共有します。	
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	2		・ケース会議で行っていますが、不在の職員にはケース会議録または口頭で周知していきます。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	3	・現時点までに担当者会議等に参加する機会がなかった。 ・まだ担当者会議などの機会がない。	・機会があったら参加する準備はできています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	2		・随時連携していますが、それ以外でも必要に応じて連携する準備はできています。	
関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	3		・通園先等を訪問するなど情報共有をおこなっていますが、実施している内容がわかる様に職員間で共有します。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	2	・今までは行っていなかったが、都型放デイを利用するにあたり、今後実施していく予定である。	・今後、必要に応じて情報共有を行っていきます。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	1	2	4	・発達支援センターとの連携は行っているものの、助言を受ける機会はいままでになかった。 ・必要に応じて、助言等を受ける機会を作っていく。	・現在その機会はありませんが、今後検討していきます。 ・unico本部のスーパーバイザーが2か月に1度ほど来訪し、助言指導を受けています。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	3	1		・公園や児童館で地域のお子さんとの関わる機会がありますが、今後も一緒に活動できる機会を検討していきます。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	2	1		・保護者様との情報共有は今後も面談や送迎時の報告などにより行っていきます。 ・その結果を随時職員間で共有します。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		5	1	・必要に応じて、その機会を設けると良いと思われる。	・現在、家族の研修などは行っておりません。 ・今後必要に応じて検討いたします。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	1			・ご契約の際に提示させて頂いております。実施していることを職員間で共有します。
	33	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	2		・児発管が実施していると思われませんが、詳細を把握していないため、どちらともいえないとしました。	・意向確認を行いニーズ把握に努めていますが、実施している内容がわかる様に職員間で共有します。
	34	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	7		1		・適切に実施されていると感じます。	・実施している内容がわかる様に職員間で共有します。



## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	unico練馬錦		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35 (回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定員とスペースの整合、構造化・バリアフリー等の配慮、必要時に個別スペースを使える体制が整っている。</li> <li>・ 清潔で心地よい空間づくりが概ねできており、活動に合わせた使い分けを出来る環境を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動や児童の遊び方に合わせて設備の使い方を確認する。</li> <li>・ 児童と話し合いながらより良い使い方を一緒に考えていく。</li> </ul>
2	支援の質の土台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援プログラムの作成・公表、アセスメントに基づく個別支援計画の作成、職員間共有、保護者への説明と同意が概ね適切に行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 半年に1回のモニタリングの他に、状況に合わせて中間モニタリングを作成する。</li> </ul>
3	記録と振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日々の記録、支援後の共有・振り返りの実施が定着されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童個別のねらいをあらかじめ設定し、支援に取り組む。</li> <li>・ 目的に合わせた記録と振り返りを行う。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時対応等において、保護者への説明、必要なことが伝わっていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発信力が足りない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急時対応についてのマニュアルなどいつでも閲覧できる様に準備する。</li> <li>・ その旨を定期的にLINEなどでお知らせする。</li> </ul>
2	ご家庭などの様子の聞き取りが不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当日の活動内容の報告に偏っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケース担当制を実施していく。担当職員がご家庭や学校の様子を聞き取り、双方向での情報共有を進めていく。</li> </ul>
3	保護者会、兄弟交流会などの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご家族のニーズの把握が弱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者の方とお会いできた際にニーズの聞き取りをする。</li> <li>・ 必要に応じて保護者会や兄弟交流会の開催を検討する。</li> </ul>